

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 検査内容変更のお知らせ（速報）

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では明年4月度におきまして、いくつかの項目の検査方法・基準値等の改訂を予定しておりますが、一般診療ならびに健康診査にて比較的汎用され、その影響の及ぶところが大きいと考えられる項目につき前もってご案内させていただきます。

宜しくご高覧を賜り、諸事お取り計らいの程お願い申し上げます。

敬具

記

### 検査内容変更項目

次項をご参照下さい。

### 実施期日

平成20年4月1日(火) 受付日分より

# 検査内容変更項目一覧

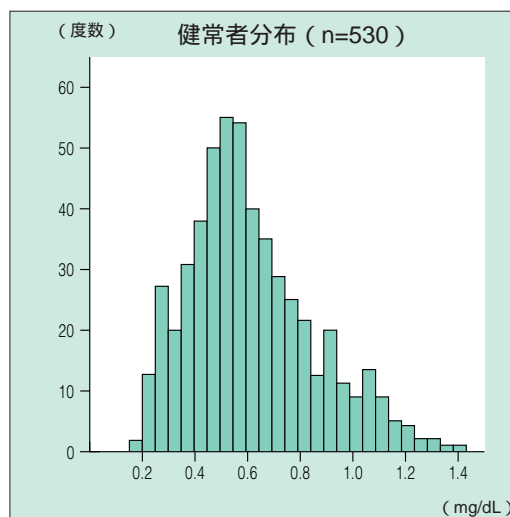
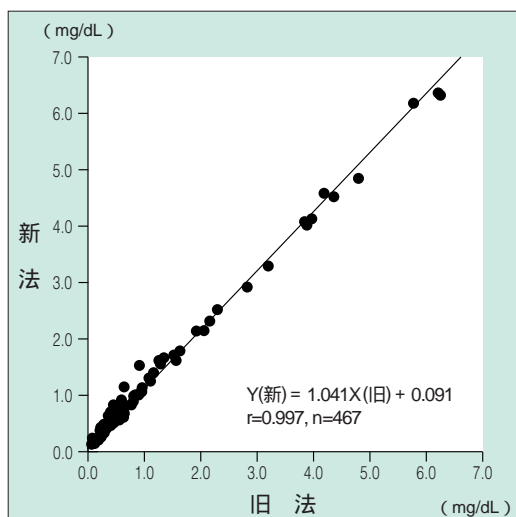
コード	検査項目名	変更箇所	新	旧	備考
0001	総ビリルビン (T-Bil)	検査方法 基準値	酵素法 [三菱化学メディエンス] 0.2~1.2 mg/dL	バナジン酸酸化法 [和光純薬] 0.2~1.1 mg/dL	高性能試薬への切替
0002	直接ビリルビン (D-Bil)	検査方法 基準値	酵素法 [三菱化学メディエンス] 0.0~0.2 mg/dL	バナジン酸酸化法 [和光純薬] 0.0~0.4 mg/dL	高性能試薬への切替
0002	間接ビリルビン (I-Bil)	基準値	0.2~1.0 mg/dL	0.2~0.7 mg/dL	総ビリルビンと直接ビリルビンの値からの演算項目
0013	γ-GTP (γ-GT)	検査方法	JSCC 標準化対応法 [三菱化学メディエンス]	JSCC 標準化対応法 [ダイヤ試薬]	
0015	LAP (ロイシンアミノペプチダーゼ)	検査方法	L-ロイシン-p-ニトロアニリド基質法 [三菱化学メディエンス]	L-ロイシン-p-ニトロアニリド基質法 [ダイヤ試薬]	
0016	CK (CPK)	検査方法	JSCC 標準化対応法 [三菱化学メディエンス]	JSCC 標準化対応法 [関東化学]	
0032	クレアチニン (CRE)	検査方法	酵素法 [三菱化学メディエンス]	酵素法 [第一化学薬品]	
0035	尿酸窒素 (UN)	検査方法 基準値 報告桁数	ウレアーゼ-LEDH法 [三菱化学メディエンス] 8.0~20.0 mg/dL 小数第1位	ウレアーゼ-GLDH法 [ダイヤ試薬] 8~23 mg/dL 整数	
1370	グルコース	検査方法	酵素法 (GK-G-6-PDH法) [三菱化学メディエンス]	酵素法 (GDH法) [関東化学]	
5310	ヘモグロビン A <sub>1c</sub>	検査方法	酵素法 [三菱化学メディエンス]	LA(ラテックス凝集比濁法) [協和メデックス]	
0041	TG (中性脂肪)	検査方法	酵素法 [三菱化学メディエンス]	酵素法 [協和メデックス]	
0039	総コレステロール (T-Chol)	検査方法	酵素法 [三菱化学メディエンス]	酵素法 [ダイヤ試薬]	
0040	β-リポ蛋白	検査方法 基準値	免疫比濁法 [三菱化学メディエンス] 230~650 mg/dL	比濁法 [ダイヤ試薬] 200~550 mg/dL	

# 総ビリルビン/直接ビリルビン

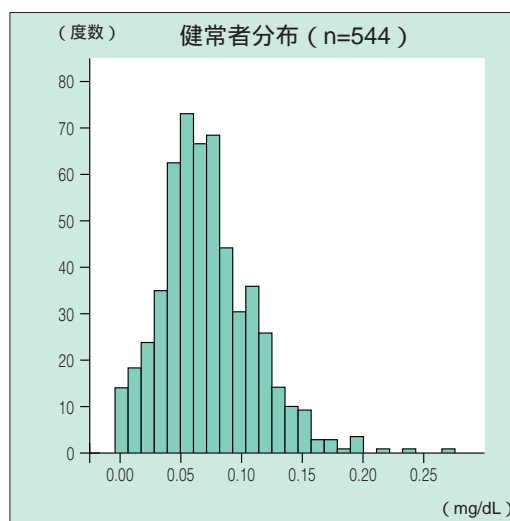
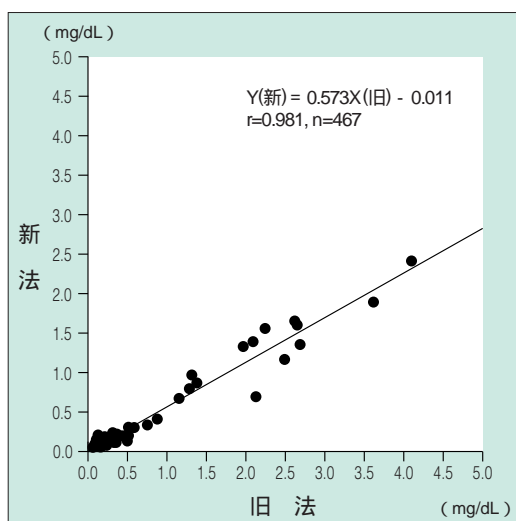
検査方法を直接ビリルビン測定時に非抱合ビリルビン(間接ビリルビン)の影響を受けずに、抱合ビリルビンを特異的に測定する方法に変更致します。測定方法変更に伴い、弊社従業員健常者の実測値に基づき基準値を再設定致します。

## 新旧二法の相関

### 【総ビリルビン】



### 【直接ビリルビン】



[社内検討データ]

### 検査法参考文献

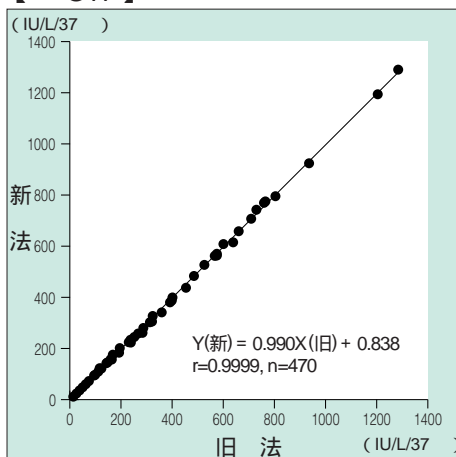
ビリルビン懇談会：臨床検査機器・試薬 21：451-461, 1998.

近藤仁司，他：臨床化学 25：20-27, 1996.

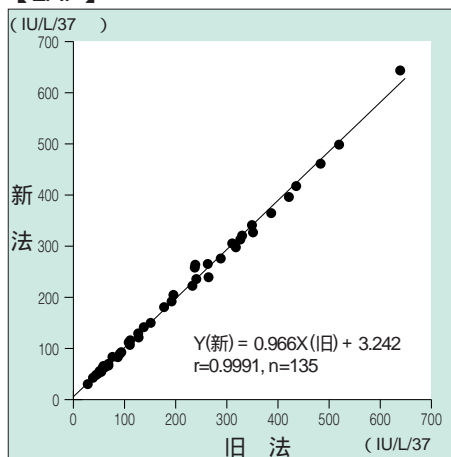
測定試薬を現行法と同一の測定方法による試薬に変更致します。新旧二法での相関はいずれも良好であり、基準値の変更はございません。

## 新旧二法の相関

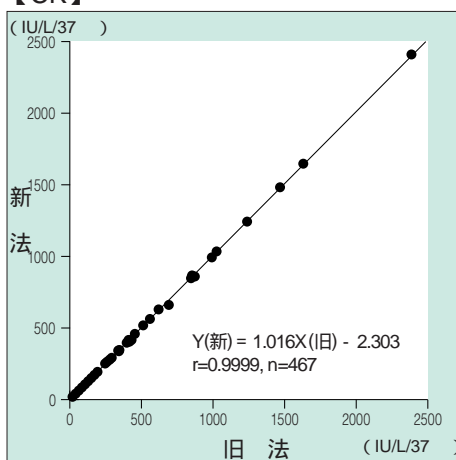
【 -GTP】



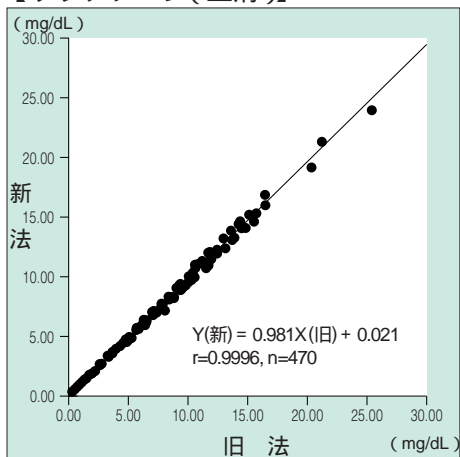
【LAP】



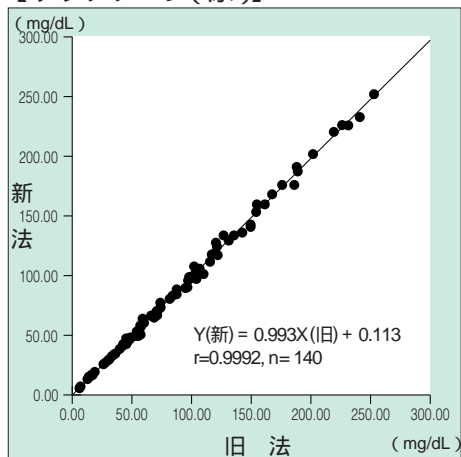
【CK】



【クレアチニン(血清)】



【クレアチニン(尿)】

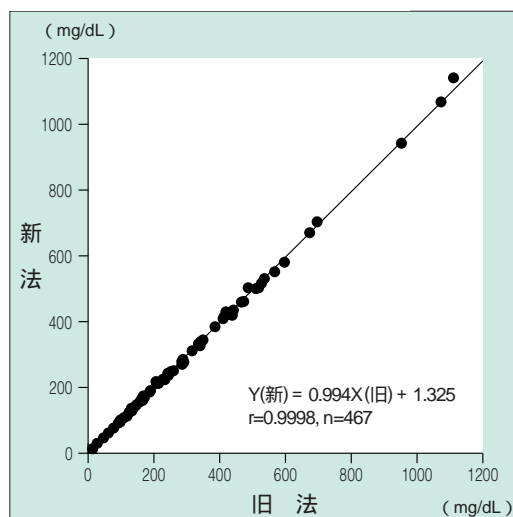


## 中性脂肪 / 総コレステロール

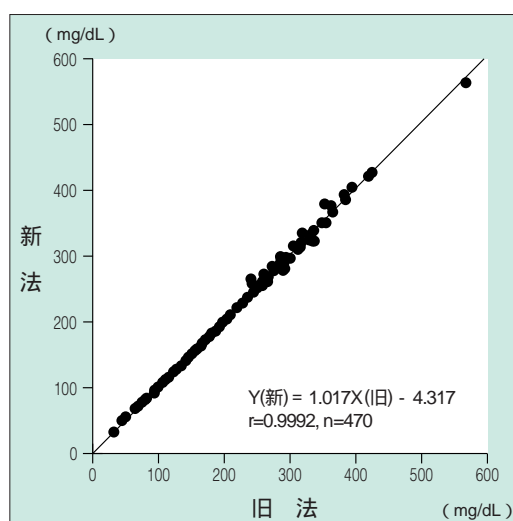
中性脂肪、総コレステロールの測定試薬を現行法と同一の測定方法による試薬に変更致します。新旧二法での相関はいずれも良好であり、基準値の変更はございません。

### 新旧二法の相関

#### 【中性脂肪】



#### 【総コレステロール】

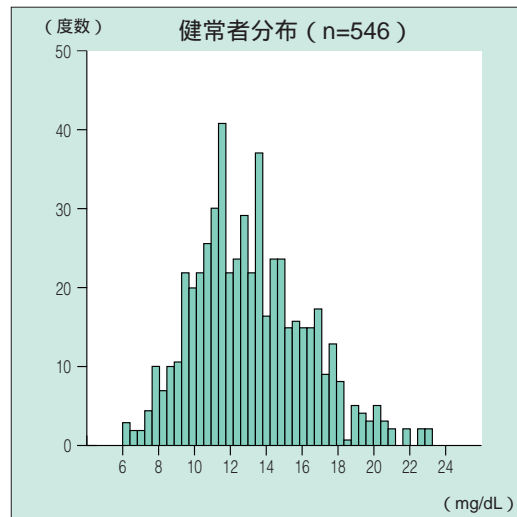
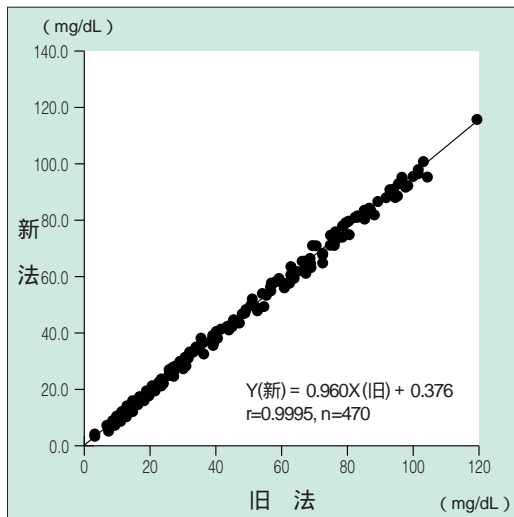


# 尿素窒素

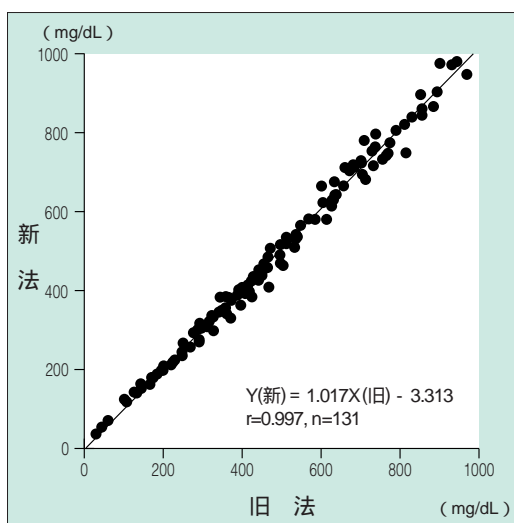
尿素窒素の測定試薬を尿素をアンモニアに分解後、補酵素をGLDH(グルタミン酸脱水素酵素)からLEDH(ロイシン脱水素酵素)を用いる試薬に変更致します。試薬の変更に伴い、弊社従業員健常者の実測値に基づき、血清検体での基準値を再設定致します。

## 新旧二法の相関

### 【尿素窒素】(血清)



### 【尿素窒素】(尿)



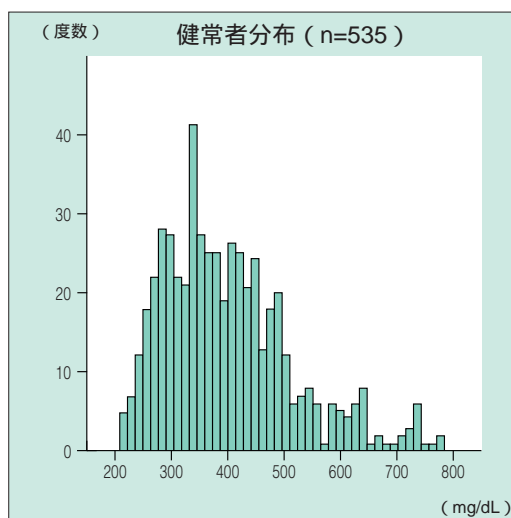
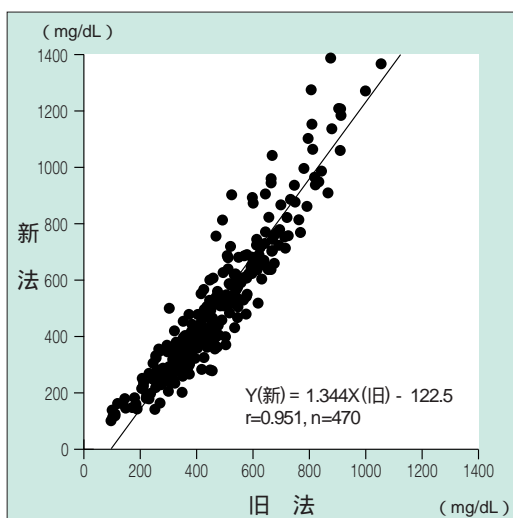
## -リポ蛋白 / グルコース

-リポ蛋白の測定試薬を比濁法から免疫比濁法に変更致します。測定試薬の変更に伴い、弊社従業員健常者の実測値に基づき基準値を再設定致します。

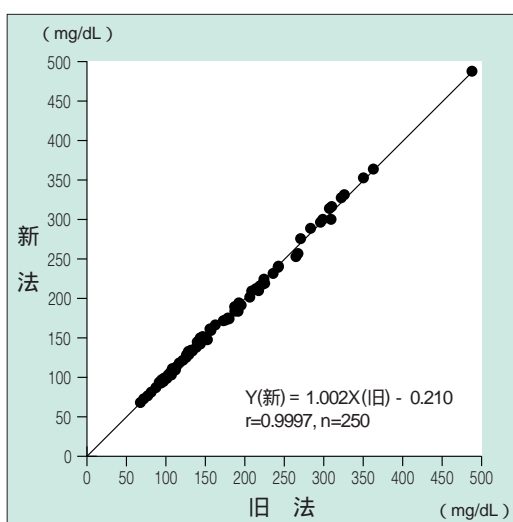
グルコースの測定試薬を、現行のグルコース脱水素酵素(GDH)から、グルコース-6-リン酸脱水素酵素(G-6-PDH)を用いた測定に変更致します。新旧二法での相関は良好で基準値等の変更はございません。

### 新旧二法の相関

#### 【 -リポ蛋白】



#### 【グルコース】



# ヘモグロビンA<sub>1c</sub>

ヘモグロビンA<sub>1c</sub>の測定試薬を現行のラテックスを用いた免疫法から、酵素法による試薬に変更致します。新旧二法での相関は良好で、HPLC法による測定結果とも良好な相関を示し、基準値の変更はございません。

## 新旧二法の相関

【ヘモグロビンA<sub>1c</sub>】

